

旧岡谷市役所庁舎 国登録有形文化財

～糸のまち岡谷のシンボル～

◆岡谷市の誕生

昭和11年4月、製糸業と共に繁栄を続けてきた平野村が村から町を経ずに岡谷市に生まれ変わった。製糸会社の経営に携わる尾澤福太郎は市制施行に伴い新庁舎を建設して岡谷市へ寄贈した。

旧庁舎の横には尾澤福太郎翁の銅像がたたずみ、時代の流れと行き交う人々を見つめている。

◆水洗トイレ岡谷市第1号

鉄筋コンクリート造りでタイル貼りのモダンな建物。内部はカウンターがめぐる旧庁舎の姿を残す。昭和62年まで市役所庁舎として、以降平成27年3月まで消防庁舎として使用された。岡谷市内で水洗トイレが設置されたのはこの建物が最初と言われている。



旧庁舎の外観



写真左側が旧庁舎
右下側が諏訪倉庫